

1 SCHEDULE 6/9 [FRI] - 6/18 [SUN] → 2 SCHEDULE 6/25 [SUN] - 7/6 [THU]

都美セレクション グループ展2018の募集について

東京都美術館は、毎年、新しい発想によるアートの作り手によるグループ展の企画を募集します。
 審査により選ばれたグループには、当館がギャラリーA、B、Cのいずれかを無償で提供し、
 空間を活かした展示を応援します。(注意：実施に係る費用はグループの自己負担になります。)
 2018年の6月～7月に開催するグループ展は、現在募集中です。(応募締切2017年7月7日(金)当日消印有効)

詳細は、当館ウェブサイトまで。
<http://www.tobikan.jp>

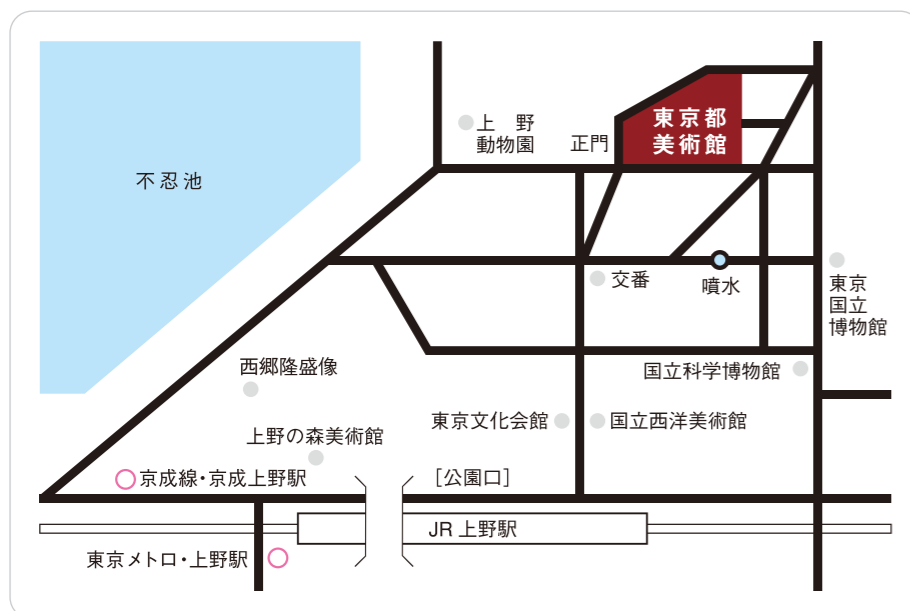
第6回 都美セレクショングループ展

GROUP SHOW OF CONTEMPORARY ARTISTS 2017

- 会期 : 2017年6月9日(金)～6月18日(日)、6月25日(日)～7月6日(木)
- 休室日 : 7月3日(月)
- 開室時間 : 9:30～17:30 (ただし、6月9日(金)、6月16日(金)、6月30日(金)は9:30～20:00)※入室は閉室の30分前まで
- 観覧料 : 無料
- 主催 : 東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、各展覧会の実施グループ
 110-0007 東京都台東区上野公園 8-36
 03-3823-6921(代表) <http://www.tobikan.jp>

アクセス

- ・JR「上野駅」公園口より徒歩7分
 - ・東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口より徒歩10分
 - ・京成電鉄「京成上野駅」より徒歩10分
- ※駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



第6回 都美セレクション
 グループ展
 Group Show of
 Contemporary
 Artists 2017

この展覧会は、新しい表現に
 挑むグループの企画を
 東京都美術館が選定し開催するものです。

新しい発想によるアート

の作り手の支援を目的とした、公募による

6つの展覧会。選ばれた各グループが

独自の企画を様々なジャンルの作品で展開します。

観覧料は無料。





A GALLERY A

精神の〈北〉へ —かすかな共振をとらえて—

Spirit of "North:" Sensing Faint Resonances

眼に見えない聖なるものを畏敬し、森羅万象を分け隔てなく尊重し、動物や森や宇宙とも融和する、そんな精神を東北は内包しています。それはアイヌ民族や世界の北方民族の地にも見出され、「北方的精神」と呼べるでしょう。表現者たちはそれを自らの内に探り、あるいは無意識に表しています。作品同士に民族やジャンルや地域の差異を越えて共振が生まれ、東北や北欧の森のように人を包むとき、それは不寛容が強まる現代社会に対する変革の試みとなります。

精神の〈北〉へ vol.7

石倉敏明 / 高島正志 / 田附勝 / 千葉奈穂子 / 丸山常生 / 丸山芳子* / アマンダ・ビルバリ / ヴィグディス・ハウグトゥッロ / ヘレナ・ユンティラ
*印はグループ代表者(以下同じ)

2012年度から福島で継続的に開催しているプロジェクト「精神の〈北〉へ」に、様々なかたちで関わりを持った表現者とともに結成したグループです。東北地方や世界の北方に向き合う、多様なフィールドの表現がひとつの空間に集い、そこに自然発生的なコラボレーションが生まれるでしょう。

助成：公益財団法人 朝日新聞文化財団、スカンジナビア・ニッポンササカワ財団、The Swedish Arts Grants Committee 協力：フィンランドセンター 後援：スウェーデン大使館



左：丸山芳子《わかり合うということ》2006（遊工房アートスペース個展での展示風景）撮影：丸山常生
右：アマンダ・ビルバリ《Iceland Dance》2015（Fresh Winds ビエンナーレでの公演風景）撮影：Lucie Jean

関連イベント	お問合せ：info@spirit-of-north.net
講演	石倉敏明（人類学）「東北に生きる造形思考」 6/10（土）14:00～16:00・ギャラリーA・申込不要
公演	アマンダ・ビルバリのダンス、丸山常生のアートパフォーマンス （展示作品・音楽とのコラボレーション） 6/11（日）、17（土）14:00～15:30 / 16（金）、17:30～19:00・ギャラリーA・申込不要
トーク	プロジェクト紹介・アーティストトーク 6/18（日）14:00～15:30・申込不要

B GALLERY B

海のプロセス—言葉をめぐる地図

Process of the Sea – Words' Atlas

言葉はリアルタイムな活動を支えるツールであり、日々の生活の中で加速度的に増幅しているように見えます。一方で、言葉は過去にも未来にも広く参照点を持ち、私たちの思考を多様にする開かれた世界でもあるはず。混沌とした日常に身体を預け、日々を思う時間を言葉と共にする。自重すら支えきれない多層化した身体と言葉が、ついにはその場で崩れ落ちるとしても、またその平原に別の世界が形作られることについて夢想するのです。

エスティック・ライフ+

中根秀夫* / 平田星司 / 井川淳子 / 福田尚代

1990年代にロンドンの大学院で学んだ中根秀夫と平田星司は、現在の自分たちにとってのエスティック・ライフ（美的な日常）を考える手段として2009年に展覧会企画ユニットを開始しました。3回目となる今回の企画では井川淳子・福田尚代 両氏に参加を依頼し、4人で「言葉をめぐる地図（アトラス）」を描きます。

助成：公益財団法人 朝日新聞文化財団



左：井川淳子《ノベル》2010（参考画像）
© Junko Ikawa
右上：福田尚代《エンドロール》2016-2017
© Naoyo Fukuda, courtesy Yukiko Koide Presents
右下：平田星司《海のプロセス》2003
（「紙の家」展での展示風景）© Seiji Hirata

関連イベント	お問合せ：http://process-of-the-sea.hideonakane.com/atlas/
上映	中根秀夫 映像作品上映 6/11（日）13:00～14:20・東京都美術館 スタジオ・申込不要
トーク	梅津元（埼玉県立近代美術館主任学芸員 / 芸術学）スペシャル・トーク 「海 / プロセス / 言葉 / 地図」 6/11（日）15:00～16:30・東京都美術館 スタジオ・申込不要

C GALLERY C

新章風景#2 — 現代における風景写真の在り方 —

New Chapter of Landscape #2 -The Principles of Contemporary Landscape Photography-

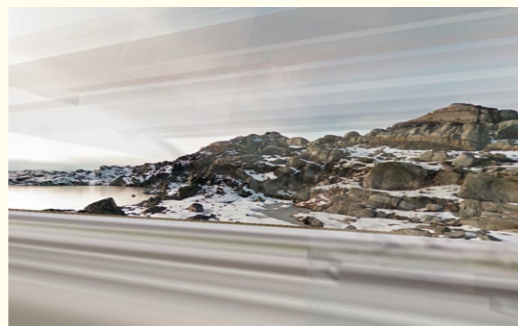
InstagramやTumblrが流行し、誰もが表現者になれる現代。写真家が撮る風景写真に意味などあるのでしょうか。2015年に開催した「新章風景」に引き続き、独自の解釈に基づいて風景を捉え続けている若手写真家を集めました。大衆に迎合せず、孤立した表現者である写真家達だからこそ、それぞれの仕方世界を切り出せる。現代風景をプリズムのように乱反射させ、浮き彫りにする「新章風景#2」をぜひご覧下さい。

新章風景 企画：福岡幸平

相島大地 / 新井五差路 / 飯塚純 / 伊藤真澄 / 片岡優奈 / 北沢美樹 / 倉谷卓 / 寺西望 / 福岡幸平*

「新章風景」は「風景写真」を多角的に捉えて様々な手法で制作を行う若手写真家を集めたグループ展です。写真表現の多様性や風景という流動的な事象をテーマにするにあたり開催ごとに出演作家を変えて展示を行っています。

関連イベント	お問合せ：info@koheifukushima.com（福岡幸平）
トーク	アーティストによるトーク 6/10（土）15:00～・ギャラリーC・申込不要



上：福岡幸平《maps》2016
下左：北沢美樹《CONTACT#4》2013
下右：寺西望《The Regeneration of Complex Societies》2015（参考作品）

A GALLERY A

切断芸術運動というシミュレーション・アート展

The Disconnection - Art Movement: An Exhibition of Simulation-Art

「芸術で無いものを切断すると芸術になる」という手法を使って、使い古しの自転車を真ん中で二つに切断するというレディメイド・オブジェの制作が先ずあります。もう一つは、デザインや工芸等としての作品制作を独自にした上で、それを切断して芸術作品にするという、二つの方法があります。こうして制作された作品の多くは、10界があり、さらにプラズマ化しているという、今日の新しい芸術の性質を達成していたのです。

切断芸術運動 彦坂尚嘉* / 糸崎公明 / 中田文 / 中川晋介 / ヴァンだ一成 / 生須芳英 / 西水俊二 / 柳川たみ / 菅野英人 / 花牟禮有基 / 西山雪包 / 李染はむ / 波多正木 / 丸野由希子 / 工藤悦仙 / 須藤光 / 田山寛明 / 矢田滋

彦坂尚嘉と糸崎公明が開催してきた「芸術分析塾ラカン」という塾で学んできた学生たちは、「逆三角関係展シリーズ」という三人展を32回開催してきました。この活動をさらに芸術運動として発展させたのが《切断芸術運動》の連鎖展グループです。それは彦坂尚嘉の芸術分析で、「芸術で無いものを切断すると芸術になる」という現象を一つ見つけて、この発見を手がかりに、芸術の成立を追究研究してみようという作品制作発表活動なのです。

協力：一般社団法人 TOURI ASSOCIATION 後援：有限会社気体分子ギャラリー 芸術分析塾ラカン



左：波多正木《砂漠にて-切断》2015
右上：ヴァンだ一成《切断芸術（絵本）》2016
右下：花牟禮有基《fig2》2011

関連イベント	
講演	アーティスト 彦坂尚嘉 「切断芸術という手法と、思考と、出現する現象」 6/30（金）14:00～15:30・ギャラリーA・申込：itozaki.kimio@gmail.com お問合せ：080-3605-5912（糸崎公明）
講演	美術評論家：矢田滋 「芸術とデザインの遺伝子組み替え 反対という主張」 7/1（土）14:00～15:30・ギャラリーA・申込：ynamasu1991@gmail.com お問合せ：090-3104-1991（生須芳英）

B GALLERY B

エピクロスの空き地

A space for 'encounter'

どうして「ない」ことは「ある」ことの間にはしか見つからないのでしょうか。「ある」ことは「ない」ことの間には現れるものなのでしょうか。人は、作ることで作らないこと、どちらにこれから「出会う」のでしょうか。個々の作品相互の話し合いやすれ違いと、それを見るひとの振舞いや感覚はどのようにかかわるのでしょうか。足元に気をつけ、眼をこらして下さい。作品と作品の間、作品と観客の間に、何が起きるかを観察するような展覧会です。

エピクロスの空き地

相澤秀人 / 秋本将人 / 秋廣誠 / 三輪洗旗 / 小塚康成 / 永瀬恭一 / 新開淳*

美術はいま、その役割を誰にでも分かる成果として見せるように、という要請に従属しています。しかし、たとえ美術家でなくても、経済的・社会的役割や成果に従わされる環境とは全く異なる場所を求め、作りだす事ができれば、生きていく事はできません。「エピクロスの空き地」は、かりそめに集まった作家達が「役割」「成果」の内実をうたがひ、そこから「斜めに逃れる」空き地作りを試みます。

関連イベント	お問合せ：epicurusnoakichi@gmail.com 会期中に開催予定。詳細はグループのウェブサイトへ：http://mniizeki.wixsite.com/epicurus
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------



上：新開淳《周囲の事情は変わらない》2016
下左：相澤秀人《tettu》2016
下右：永瀬恭一《コーヤンの静物》2016

C GALLERY C

境界を跨ぐと、

To the other side of the boundaries,

対話の中で、双方の立場を明確にし、違いをあえて強調する壁の存在は、一方では自身を守るための壁であったにも関わらず、しばしば「私」の足元をぐらつかせました。「私」はいま誰の言葉を話し、相手は「私」をどのように捉えて言葉にしているのか。突然、目の前がひらけて境界を跨ぐと、それぞれが見た風景はまったく別のものでした。個々の作家が前回の展覧会で持ち帰ったテーマを、制作を通して思考します。

突然、目の前がひらけて制作委員会

市川明子 / 土屋美智子 / 鄭梨愛 / 灰原千晶* / 李晶玉

2015年、武蔵美 × 朝鮮大「突然、目の前がひらけて」（武蔵野美術大学 FAL 及び朝鮮大学校美術棟1階で開催）を主催した制作委員会メンバー兼出展者で構成されています。武蔵野美術大学と朝鮮大学校は堀一枚を隔てた隣り合う位置関係にありながらも長年表立った交流がなかったことから、私たちが隔てられていた壁（堀）とは何であるのかを対話を通して見つめ直し、作品を制作・発表しました。

助成：NOMURA 野村財団、公益財団法人朝日新聞文化財団



左：李晶玉《Eden》2016 撮影：加藤健
右：土屋美智子《突然、目の前がひらけて アンケート》2015
（「武蔵美×朝鮮大突然、目の前がひらけて」での展示風景）
撮影：加藤健

関連イベント	お問合せ：totsume2015@gmail.com
トーク	ゲストによるトーク（ゲスト：会田誠）6/30（金）18:00～19:30 アーティストによるトーク 7/2（日）14:00～15:30

共にギャラリーCで開催。詳細は、「境界を跨ぐと、」facebookページでご確認ください。
https://www.facebook.com/1290638621025115
または、facebookで検索 ▶ 境界を跨ぐと、